

01 単一作業に特化した工具メーカー「シモムラアレック」に注目!

発端は本誌13年7月号のヘッドライトピック
スでも取り上げた「転輪君」である。これはシモ
ムラアレックが開発した戦車モデルの転輪に発生
するパーティングラインを削り取るだけの工具な
のだが、なんとというストレートすぎるネーミング、
なんとという単一目的過ぎるツール。「戦車ばかり
作っているAFVモデラーでもコレを必要とする
ものなのかなあ……」と懐疑的に思っていた矢
先、自分自身が48個にも及ぶ転輪のパーティン
グラインを泣きながら消すという経験をし、「買っ
とけばよかった!」と認識を改めたのだった。

模型製作には少なからずこうした単調な作業
が続く工程があり、しかもそれはどのジャンルで
も避けて通れないベーシックな作業である。そ
れに対応した転輪君は、同じ単一目的のツール
であるツイメリットコーティング用のローラーや
エアモデル用のリベットガイドといった表現を
付加する工作—— 極端な言い方をすれば「や
らなくてもよい工程」に対応したツールとは別
種と言えるだろう。他にも円柱形パーツのさま
ざまな曲面に対応したパーティングライン消し

ツール「Rボコ」なども発売中で、同社のツール
はこういった模型製作の根本的な部分で役に立
つものが多い。さて、このシモムラアレックとい
うメーカーは一体何者なのだろうか?

代表である下村朋道氏に直接話をうかがったと
ころ、以前務めていたイベント設営会社を退職後、
ミニカーの販売がしたくて98年に会社を設立した
が、気が付けば多くのツールを取り扱うメーカー
になっていたのだとか。はじめは他業種が使って
いるツールのなかから模型製作に役立ちそうなも
のをOEM販売していたが、周囲のモデラーから
の意見や要望を取り入れ、現在は自主開発を行
なっており、今後も専用ツールをさらなる開発/
販売していくとのこと。こうした模型用ツールは入
手が面倒だったり早々に生産が終了するものも多
いが、同社製品はプラッツが流通を担っているの
で、模型店や量販店で購入することも可能である。

新しい発想を持って根本的作業を手助けしてく
れるツールは数少ない。今後ともシモムラアレック
にはそういったツールの開発に期待したい。

二宮茂樹 (本誌ツール好きモデラー)

▼上部を軽く押すだけでなかの液体が定量出てくる容器「アボ
口」。出てきた液体は逆流することはないので、エナメル塗料
などを入れておけばウォッシングの際に重宝するであろう逸品



▲職人が一枚一枚丹精込めて手か
けているハイパーカドミウムシリ
スは、厚さが0.1・0.15mmと非常に
薄い。さらに0.25・0.4mm間隔と
ごまかい曲レッチで、切れ味と切斷
面の美しさを他の追随を許さない。



▶ランナースタンドを立てさせ
て、その名のとおりランナーを
立てておくものだが、ランナーに
べれば製作中のランナー抜きから
解放されるアイデア製品だ。



◀ギョーレックのような形状
の精密片断取りツール「月ホ
コ」。鏝板の外側に刻まれ
た大小の厚みがポイント



▶ハイツ形状にフィットする
月ホコを通過することで、円滑な
な曲線の曲率を定めることがな
りやすくなる。



◀手裏剣のような、精密下面の削
りツール「F.V.」は、突起の先
端部分が1mmまでの1mm刻みに
なっているため、必要に応じた幅
で出し切削が可能なのだ。



▶以前にも紹介した「マジカ
ルホイールブレイカー」転輪君
は、転輪パーツをエッジに当て
ながら回すだけでパーティング
ラインが消えるすぐれものだ。

